

高病原性鳥インフルエンザが宮崎県で発生！今季40例目

令和3年1月31日、宮崎県の採卵鶏1農場（全国で40例目、宮崎県で10例目）において、高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）の疑似患畜が確認されました。



○発生日及び飼養状況

・1月31日（日）

宮崎県新富町 採卵鶏 8万羽

鶏舎に野鳥などの小動物が侵入するような隙間がないよう、防鳥ネット等の破損個所の点検・修繕を徹底しましょう。

○農場及び鶏舎出入口での車両や靴底の消毒の徹底

（消石灰の散布等による引き続きの消毒）

○野鳥や野生動物の侵入防止対策の確認と徹底

○鶏舎毎の手袋や靴の交換

○農場の近隣に池や沼等がある場合は、特に注意を！

【参考】国内家きんの高病原性鳥インフルエンザ（疑似患畜）発生状況（1月30日現在）

○16県39事例、約620万羽

発生県：香川県(13)、福岡県、兵庫県、宮崎県(9)、奈良県、広島県、大分県、和歌山県、岡山県、滋賀県、高知県、徳島県、千葉県(4)、岐阜県、鹿児島県、富山県

※（ ）内は複数事例数

○この他、計10道県37事例から採取されたふん便、水、死亡野鳥からも高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）が確認されています。

★家きんの健康観察をこまめに行い、異状が認められた場合は速やかに、かかりつけの獣医師又は管轄の家畜保健衛生所へ連絡してください。

県央家畜保健衛生所

TEL:028(689)1200

携帯:090-7205-0895（夜間・休日）

県南家畜保健衛生所

TEL:0282(27)3611

携帯:090-7205-1402（夜間・休日）

県北家畜保健衛生所

TEL:0287(36)0314

携帯:090-7205-1826（夜間・休日）